

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所（所在地：東京都品川区）

事業名

アクセシブルな図書を通じた学びの機会を促進する「りんごプロジェクト」

主な連携先

横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課生涯学習係

主な対象

身体・知的・発達などの障害などにより
通常の本が読めない・読みにくい方々

事業の趣旨・目的

- ・ 障害者が利用できる図書資料の普及啓発
- ・ 障害のある児童生徒の学習支援の拡大
- ・ 図書館の障害者サービスの向上
- ・ 卒業後の学びの機会を増やす

事業実施体制

企画・運営：NPO法人ピープルデザイン研究所りんごプロジェクト
協力：横浜市教育委員会、兵庫県三木市、川崎市、渋谷区立図書館、点字付き絵本の出版と普及を考える会、スギヤマカナヨ（絵本作家）、絵と言葉のライブラリーミッカ、株式会社丹青社、株式会社MUZIKA
参加・連携：横浜市立本牧南小学校、横浜市立杉田小学校、ダイバーシティパークin新宿、図書館総合展、渋谷区立神南小学校、横浜市立大道小学校、三木市中央図書館、平塚市中央図書館、新潟県教育庁生涯学習推進課、

学習プログラムの内容

< 内容 >

図書館や特別支援学校、公立小学校、企業団体と連携し、誰もが参加できるアクセシブルな図書の体験会を実施

< プログラムスケジュール（例） >

前半30分：講師によるレクチャー、質疑応答
後半30分：実際にアクセシブルな図書の体験
※目的・時間・場所等の諸条件によって適宜調整

< アクセシブルな図書の種類 >

点字・拡大文字・音声デイスリー・マルチメディアデイスリー・点字付き絵本・ユニバーサル絵本・布の絵本・LLブック等

今年度の取組状況

今年度はアクセシブルな図書の体験会を14回開催しのべ5000人の参加があった（小学校5校、中学校2校、公共図書館1回、展示会への出展4回、公園などでのイベント出展2回）また横浜市と協力し啓発動画の作成や株式会社の協力で新しくパンフレットを作成したり公共のスペースで展示会を開いたりすることができ、障害当事者だけではなく広く一般市民に普及啓発することでバリアフリー図書を本当に必要とする人に届けることに貢献することができた。また読書バリアフリーの周知が進むことで「りんごの棚」の知名度も上がり、全国の図書館からの問い合わせが昨年より多かった。我々の活動は障害者の生涯学習の土台を作る活動であり、共生社会づくりのための土を耕す活動である。今年度の取組は社会に出る前の子ども達と多く活動を共にすることができ、福祉や障害について新たな気づきや体験を提供することができた

< 活動の様子 >



学校や地域イベントでの体験会実施



超福祉の学校



その他研究の詳細など

りんごプロジェクトのホームページ



読書バリアフリー啓発動画



超福祉の学校シンポジウム動画

